



R6、9、1発行 認定こども園 同仁東保育園

日中はまだまだ暑い日もありますが、日が落ちるのが随分と早くなり、季節の移り変わりを感じる頃となりました。

プールや夏まつりなどいろいろな経験を楽しみ、夏の思い出と共になんだか一回り大きくなったような、たくましくなった姿で元気に遊んでいる子どもたちです。

今月は、2～5歳児クラスで保育発表会が予定され、今、子どもたちは発表会に向けて練習を頑張っているところです。当日は、保護者の方の温かい応援が子どもたちのパワーになりますので、たくさんの拍手で応援してあげて下さいね。

<保育園コラムリレー>

年中グループリーダー 大塚ひろみ

2024年パリオリンピックが7/26～8/11の16日間32競技が実施され、開会式ではパリ中心部を流れるセーヌ川が舞台となりました。沢山の競技を、皆さんもテレビの前で応援したのではないのでしょうか。私もバレーボール、卓球、柔道、体操など声を出しながら応援をしていました。若い選手の活躍も目立っていたし、チームワークが素晴らしかったですね。2021年に行われた東京オリンピック以降、あるいはそれ以前からパリでの戦いに向けて選手たちは準備を進め、厳しい予選大会を戦い、多くの方がパリへの挑戦を終え、ほんの一握りの選手がパリオリンピックに辿り着き、その舞台に全てをぶつけました。その舞台では、沢山の感動を観る事が出来ました。スポーツの世界には勝ち負けはつきものです。勝利の歓喜もあれば、敗北の涙もあります。私は、柔道の阿部詩選手が金メダルを期待されながらも2回戦敗退という結果となり号泣する姿に会場に詰めかけた柔道ファンが「うたコール」を贈ったシーンはとても印象に残りました。また、兄弟の2連覇が大きく注目されていて、妹の詩選手が2回戦で敗れ、2人の夢が道半ばで途絶えかける中、兄が妹の屈辱を晴らすべく決勝の舞台で金メダルを勝ち取りました。本当に感動しました。詩選手も団体戦では、1本勝ちをしチームの勝利に貢献する事が出来、個人では取れなかったメダルを団体では取れて本当に良かったと思いました。

次回の2028年の4年後のアメリカ・ロサンゼルスで開催されるオリンピックでも頑張りたいと思います。

今から4年後がとっても楽しみです。



- 2日(月) そろばん教室(5歳児) 園庭開放
- 3日(火) 発表会リハーサル(2～5歳児)
- 7日(土) 保育発表会
- 9日(月) そろばん教室
- 10日(火) パネルの日(2歳児) ちびっこ広場
- 12日(木) 音楽指導(4、5歳児)
- 16日(月) 敬老の日
- 17日(火) ちびっこ広場
- 18日(水) リトミック(2、3歳児)
- 20日(金) 体育指導(4、5歳児)
- 23日(月) 秋分の日
- 24日(火) ちびっこMaFT
- 25日(水) 避難訓練

◎今月の体育指導・リトミックは講師の都合により年間行事予定の日にとは異なります。また、超禅は講師の都合によりありません。



<保育発表会について>

下記の日程で保育発表会を開催いたします。

クラスによって時間や駐車場、お迎いのルートが異なりますので先日一斉配信しました保育発表会のおたよりを今一度ご確認ください。

当日は、緊張して固まったり、泣いてしまったりするかもしれませんが、子どもたちの今の姿を温かく見守って頂けたらと思いますので、応援をお願い致します。

日時	令和6年9月7日(土)	
場所	同仁東保育園 2Fホール	
時間	2～3歳児	8:50～9:40
	4～5歳児	10:20～12:00

<選ばれました!!>

高萩消防署のポスターに、みどり組の小川拓己くんの消防車の絵が採用されました!職員室と給食展示脇に掲示されていますので、力強い消防車の絵をぜひご覧下さい。



<ありがとうと言える子どもに>

保育園では、月間目標があり毎月子どもたちの年齢に合わせて保育の目標に組み込まれています。クラス便りの月目標に記載されている4文字の漢字のあれです!9月は報恩感謝(ほうおんかんしゃ)～ありがとうと感謝の

気持ちを伝えましょう～です!

私達が人に言われて嬉しい言葉に「ありがとう」という言葉があります。「ありがとう」は集団や社会の中、人間関係を築いていく上で、大切な役割を担っているといえるでしょう。子どもは周囲の大人の言動や物事に対する姿勢を良く見ています。日常生活の中で、大人はどんな場面でどのように「ありがとう」と言っているか、そのニュアンスや表情も敏感に感じ取って、子どもの記憶にファイルしています。ですので、まずは大人が「ありがとう」という言葉を生活の中で自然に使う姿を見せましょう。「ありがとう」と人から言われると、心地良いものです。その心地よさを子どもにも体感させましょう。些細な事でも子どもが何かをしてくれたら「ありがとう」と気持ちを言葉にして伝えるといいですね。また、簡単な家事などのお手伝いをお願いする、お友だちにおもちゃを貸してあげるなど、人から「ありがとう」と言われる状況や場面を作ることの良いでしょう。子どもが「ありがとう」と言ったら、「〇〇ちゃんにありがとうって言ってもらうととっても嬉しい」と言葉にして喜びを伝えましょう。大人が喜んでくれる事で子どもは何度も「ありがとう」を言いたくなります。また、思いやりの気持ち、優しさも育まれるでしょう。

「ありがとう」は心が伴ってこそ、相手に伝わる言葉です。いくら言葉で「ありがとう」と言っても、表情が強張っていたり、声のトーンが暗かったりすれば、相手に感謝の気持ちは伝わりません。大切な事は、その言葉と一緒に感謝の心を育むことです。

また、目の前に「あなた」がいることに喜び「あなた」の存在そのものに感謝している気持ちを「ありがとう」の5文字で伝える事で、子どもの心は満たされ、人にも同じように感謝することができるようになります。

「ありがとう」は言うより、湧き上がる気持ちを言ってしまうもの。大人がそのような気持ちで日々接していれば、「ありがとう」を自然に言葉にする子どもに育つでしょう。

日常的に「ありがとう」が飛び交ったら素敵ですね!